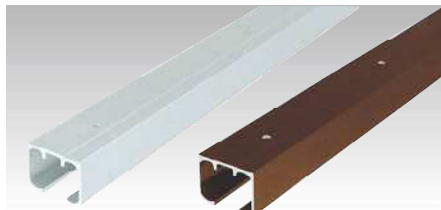


DOCタイプ

両方向ソフトクローザーFHC2W50

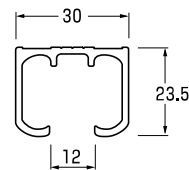
扉重50kg



B2シルバー アンバーED

① DOC9 上部レール

材質 / 6063S-T5
用途 / 上部レール
入数 / 20本
カラー / B2シルバー
アンバーED



長さmm	品番	取付穴数	トリガー穴数
1830	DOC918	7	1
2740	DOC927	10	1
3660	DOC936	14	1
2010	DOC920	8	1
4020	DOC940	16	1

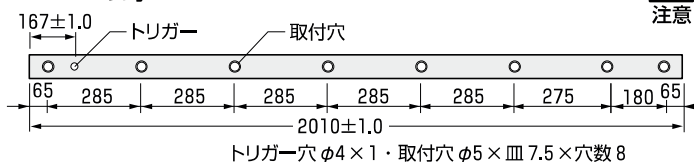
穴明け仕様

1830mmの時



警告 レール取付下地は50kg扉に対応可能な強度が必要です。

2010mmの時



注意 レール取付ネジはA皿タッピング3.5×30(別売)をご使用ください。

使用部品

② FHC2W50 両方向ソフトクローザー

材質 / PA6・POM・SUS304
用途 / 引込み装置
入数 / 1個×50入
備考 / トリガー
2セット付



③ FTG2 トリガー

材質 / SWCH16A
用途 / 誘発具
入数 / 1セット×フリー
カラー / ブラック
備考 / 標準品
アフターパーツ



④ FHC208-50 吊車

材質 / PA6・ZDC
用途 / 吊車
入数 / 10個×5入
カラー / グレイ
備考 / ネジ・ブラケット付



警告 安全のためフロントカバーは必ずご使用ください。

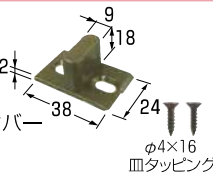
⑤ SP05U フロントカバー

材質 / PA6
用途 / フロントカバー
入数 / 100個×12入
カラー / ホワイト・ブラウンアンバー
備考 / FHC208-50用



⑥ F107 案内ガイド

材質 / ABS
用途 / 案内(下)
入数 / 100個×4入
カラー / ブラウンアンバー
備考 / ネジ付 標準



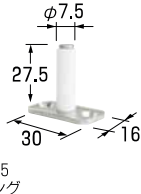
⑦ F102 案内ガイド

材質 / ナイロン
用途 / 案内(下)
入数 / 100個×12入
カラー / 乳白色
備考 / ネジ付
オプション



⑧ FZC125 案内ガイド

材質 / スチール・ナイロン
用途 / 案内(下)
入数 / 12個×10入
カラー / ユニクローメート
備考 / ネジ付
オプション



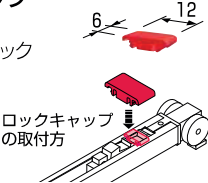
⑨ FGL120-30・33・36

材質 / スチール
用途 / 案内(下)
入数 / 12個×10入
カラー / ユニクローメート
備考 / ネジ付
オプション



⑩ F108 ロックキャップ

材質 / PA6
用途 / 片方向時のロック
入数 / フリー
カラー / レッド
備考 / オプション



金具標準組合せ

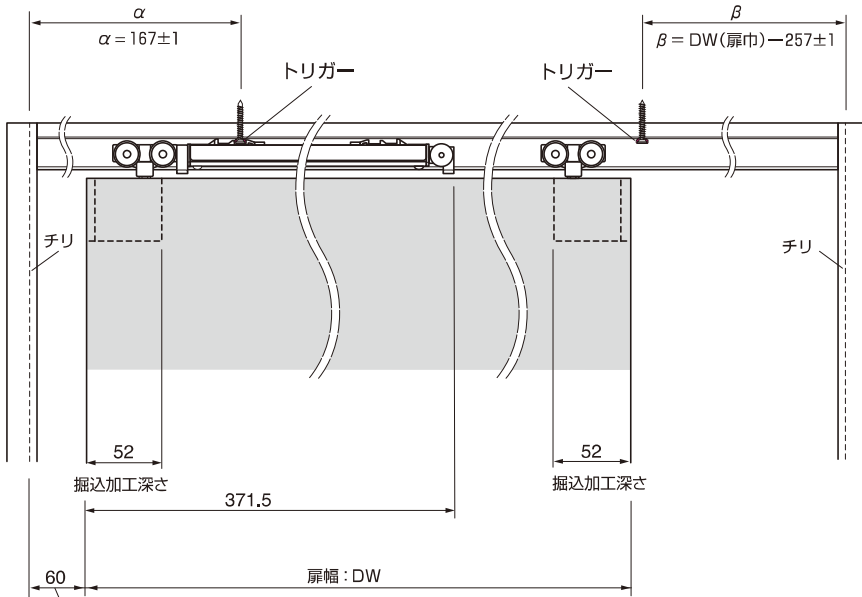
引戸バリエーション	上部レール DOC9	両方向ソフトクローザー FHC2W50	吊車 FHC208-50	フロントカバー SP05U	案内ガイド(下) F107
① 1枚引き					
② 2枚引き	1830mm 1	1	2	2	1
	1830mm 2	2	4	4	2

FHC2W50 参考納まり図



トリガー取付位置は必ず「全閉時の戸先からの寸法 (α)」及び「全開時の戸尻からの寸法 (β)」で設定してください。

注意



クローズ機構作動開始距離 (全閉時の戸先からの寸法)
* 制動距離は扉重量・閉速度・使用温度により変化します。

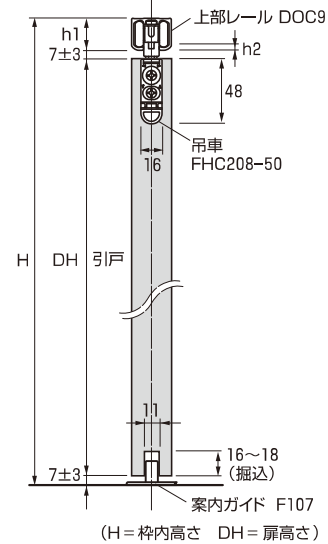


トリガーは両側とも必ず取付てください。
片方のみ取付た場合上部レールをはずさない
とクローズ機構の再設定が行えません。

警告

引戸の上下寸法表 (参考基準寸法)

- ・ 上部レール面付の時 $H = DH + 37 (7 + 7 + 23)$
- ・ 上部レール掘込の時 $H = DH + 17 (7 + 7 + 3)$

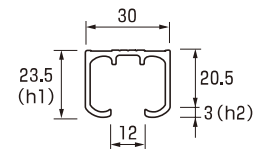


(H = 枠内高さ DH = 扉高さ)

上部レールのh寸法

$h1 = 23$ (面付の場合)

$h2 = 3$ (掘込の場合)



クローズ機構の再設定

クローザー本体のスライダーが戻ってしまった場合には、次の要領で再設定を行ってください。

* 戸先側、戸尻側共に同じ方法になります。

1. 扉をゆっくりと閉めていってください。
2. 全閉時の戸先から20mm程度の位置で引っ掛かりが生じる場所があるのでそこで一旦閉操作を停止してください。
3. 2の状態から力を入れて『ガクッ』と手応えがあるまで扉を閉め(押し)込んでください。



この時点でも扉は完全に閉まり切りません。

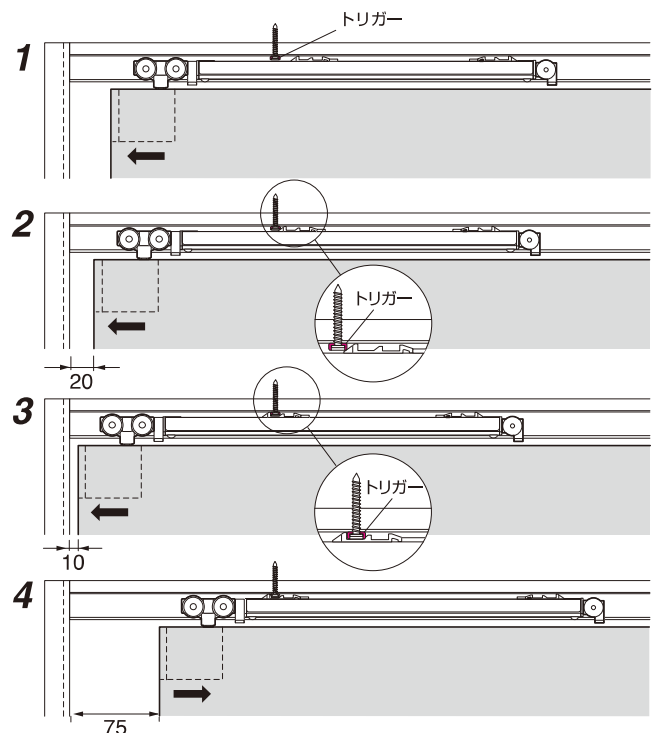
注意

4. 3の操作完了後、ゆっくりと扉を75mm以上開いてください。これで再設定完了です。
5. 再度扉をゆっくりと閉めてクローズ機構がきちんと作動しているか確認をしてください。



戸先・戸尻側両方にトリガーを取付ないと扉を吊り込んだまま再設定が出来なくなります。

警告

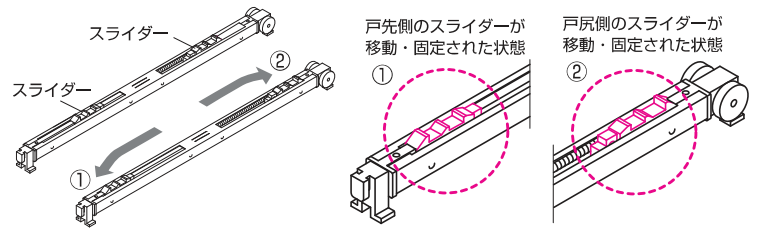


取付方法

1 クローズ機構の初期設定

両側のスライダーを両端へ移動させてください。

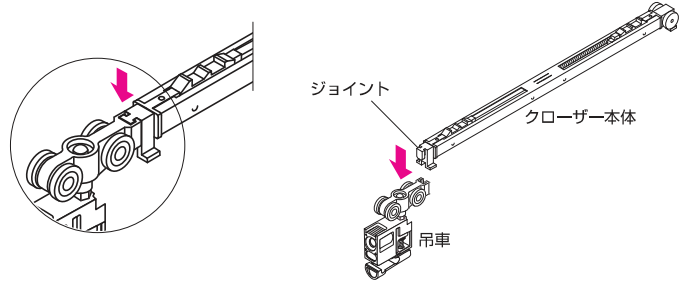
注意 スライダーを移動させる際にクローザー本体の金属部で指などを切ることのないようにご注意ください。



2 両方向クローザー本体と吊車の接合

クローザー本体と吊車を接合してください。

注意 吊車上面溝部にクローザージョイント部をしっかりと奥まで差し込んでください。

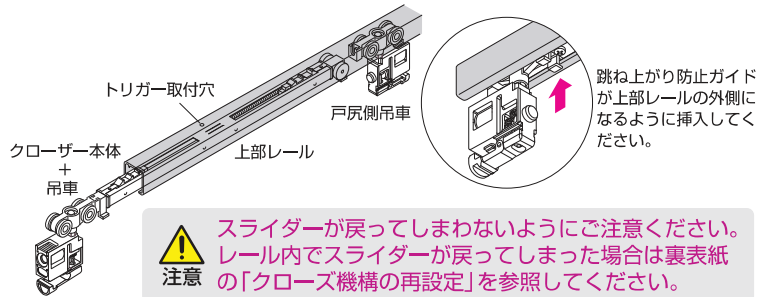


3 上部レールへの挿入

戸尻側吊車を挿入後、吊車+クローザーを挿入してください。

注意 上部レール端部に近い位置にあるトリガー取付穴のある側に吊車+クローザーがくるように挿入してください。その後、上部レールごと上枠に取付けてください。

注意 取付ネジはネジ頭が上部レールからはみださない様にまっすぐに締め込んでください。下記6「上部レール取付上のご注意」参照



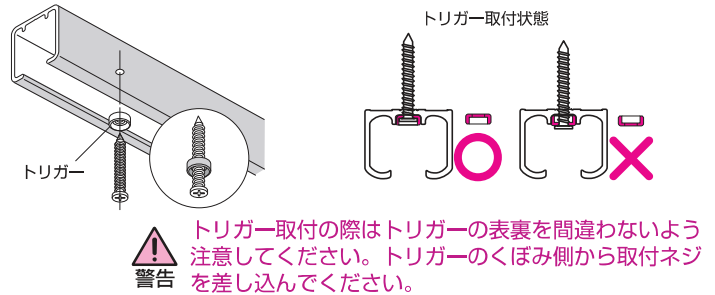
4 トリガーの取付

トリガーを付属のネジで所定の位置4頁「参考納まり図」参照へ取付けてください。

注意 ネジ頭がトリガーからはみ出さない様にまっすぐに取付けてください。

警告 必ず手回しドライバーを使用してください。

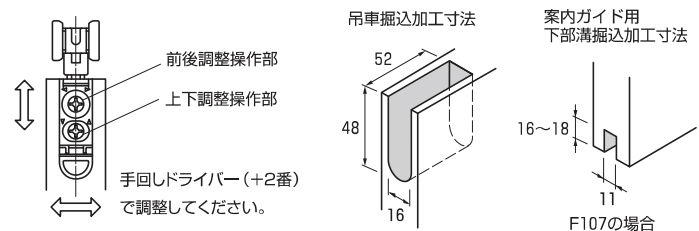
注意 あらかじめ下穴(φ3×深さ20mm程度)を開けておくとスムーズにネジの締め付けが行えます。



5 扉の吊り込み・チリ調整扉の加工参考納まり図

扉を吊り込んでください。その後チリ調整を行ってください。

注意 吊車で扉の上下・前後調整を行います。クローズ機構の強弱調整は行えません。



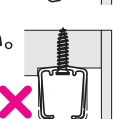
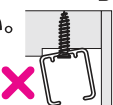
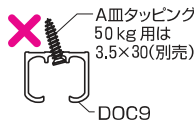
6 上部レール取付上のご注意

1. 取付ビスはまっすぐに締め付けてください。ビス頭がローラーなど他の部品に引っかかり正常な走行ができなくなることがあります。

2. 上部レールは正しい位置で固定してください。上部レールにねじれなどが生じて、正常な走行ができなくなることがあります。

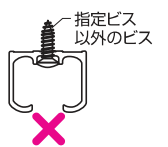
3. 必要以上のトルクで締め付けしないでください。

警告 必要以上のトルクで締め付けますと、ビス頭を破損したり、上部レール自体が変形して正常な走行ができなくなることがあります。



警告 上枠の材質強度は十分強度のある材質をご使用してください。
4. A皿タッピング 50kg用は3.5×30(別売)をご使用ください。

指定ビス以外のビスを使うと、適正な保持力がなかったり、他の部品に引っかかり正常な走行ができなくなることがあります。



本製品の注意事項

- 1 開閉の際にカチッという部品の作動音が生じます。
- 2 パネを採用している為、扉を開ける際に途中扉が重く感じる部分があります。
- 3 オイルダンパー（緩衝装置）を使用している為、夏期と冬季（部屋の温度差）で引き込み速度が異なる場合があります。



対応扉重量：FZC2W 30kg以下、使用温度範囲：5℃～40℃
FZC2W40 40kg用、使用温度範囲：5℃～40℃
FHC2W50 50kg用、使用温度範囲：5℃～40℃



・引戸の厚さ：FZC2W・FZC2W40 25～40mm、FHC2W50 30mm以上
・クローズストローク：60mm
・最少戸幅：500mm



本製品は一般住宅向け室内専用品です。公共の施設など多数の人が使用する開閉頻度の高い場所や屋外では使用しないでください。



本製品は扉を閉める際に生じる枠への衝撃を緩和し、扉が自動的にゆっくりと閉る「両方向ソフトクローズ機構」を備えておりますが、あくまでも補助機能であり、非常に勢いよく扉を閉めた場合などクローズ機構が正常に作動しない場合があります。



戸袋仕様の場合、戸袋の壁を取り外し可能な構造にするなどメンテナンス可能な構造にしてください。



本製品の施工時は必ず両側のトリガーを使用してください。戸先側のみ使用する場合戸尻側のスライダはロックキャップでロックしてください。



扉重量・扉を閉める速度・室内温度など使用環境により、クローズ機構の作動距離や扉が自動で閉まる速度が変化する場合があります。

施工時の注意

- 1 施工時にレールの中に異物等が無い様にご注意してください。
- 2 レールは傾き・ねじれ・ビスの締めすぎによる変形が無い様に注意してください。
- 3 部品は絶対に分解しないでください。
- 4 枠の強度不足は大変危険ですので枠の強度は扉重量、扉の開閉の衝撃に耐えられる様に設計してください。
- 5 扉のセット後、静かに開閉し案内ガイドが下部案内溝に正しくセットされているか確かめてください。
扉の上げ過ぎの場合は吊車で正しい位置にセットしてください。
- 6 扉下木口と床面とのスキ間は5mm以上必要ですので正しくセットしてください。
- 7 枠は下記ように取付ないでください。扉が閉まらなくなることがあります。

ねじれ



外ソリ



内ソリ



傾き



ずれ



EMS505608/ISO 14001
取得事業所：本社



取扱いの誤り、他社部品の併用や、仕様の限界を超えた使用での故障・破損・事故等には責任を負いかねる場合がありますので、ご了承ください。
商品は、改良のため予告なく変更をすることがありますので、ご了承ください。

ユニバーサルデザインのプロデューサー
株式会社 シモダイラ

大川営業所 TEL 0944(88)1126 FAX 0944(88)1129
静岡営業所 TEL 054(254)5401 FAX 054(252)8211

札幌営業所 TEL 011(875)3700 FAX 011(875)3702

本社 東京都台東区下谷3-13-11 <http://www.shimodaira.co.jp>
TEL03(3873)4126(代) FAX03(3875)4494 E-mail:stg@shimodaira.co.jp

ケーシーパルテック株式会社

〒581-0041 大阪府八尾市北木の本1丁目51番地

製造元 TEL (072)923-1311(代)